

町田市子ども発達支援計画行動計画 2024～2026
(第三期障害児福祉計画)

【素案】

意見募集実施結果

2024年3月

町田市子ども生活部子ども発達支援課

実施概要

2023年12月に公表した町田市子ども発達支援計画行動計画2024～2026(第三期障害児福祉計画)【素案】について、市民の皆さまのご意見を募集しました。

1 意見の募集期間

募集期間 2023年12月15日(金)から2024年1月12日(金)

2 意見募集の方法

(1) 以下の施設での資料閲覧・配布

子ども発達センター、市政情報課・広聴課・障がい福祉課(市庁舎1階)、子ども総務課(市庁舎2階)、子ども創造キャンパスひなた村、各子どもセンター、各子どもクラブ、中央学童保育クラブ、各公立保育園、男女平等推進センター(町田市民フォーラム3階)、各市民センター、各連絡所、各市立図書館、町田市民文学館、生涯学習センター、町田市保健所(中町庁舎)、健康福祉会館、教育センター、各障がい者支援センター

(2) 町田市ホームページに実施概要と資料を掲載

(3) 「広報まちだ」(2023年12月15日号)に実施概要を掲載

(4) X(旧 Twitter)「子ども・子育て情報」(町田市公式)で配信

(5) LINE 町田市公式アカウントで情報配信

(6) 以下の施設にポスターを掲示

資料閲覧場所、東京都立町田の丘学園、小中学校、医療機関(町田市医師会小児科医)

3 寄せられた意見の件数・内訳

電子メール等を通じて、7名の方から、16件のご意見をいただきました。

ご意見の項目別の内訳は以下のとおりです。

基本施策	件数
I-2-(1) 子どもが自分らしく育つための、特徴や状況に応じた療育の充実	1件
I-2-(2) 一人ひとりのニーズに合わせて学ぶことができる教育環境の充実	2件
I-2-(3) 子どもの成長に応じた切れ目のない支援を受けることができる連携体制の充実	1件
I-2-(4) 適切かつ質の高い支援を受けられるよう、支援の質の向上を図る	2件
II-1-(1) 子どもの育ちや子育ての状況に応じて気軽に相談できる体制の充実	1件
III-2-(1) 子どもが安全安心に暮らしていくための障がい等に関する理解の促進と環境整備	1件
その他	8件

ご意見の要旨と市の考え方

No	ご意見の要旨	市の考え方	関連する基本施策
1	子ども発達センターの保育所等訪問支援を小学校でも行い、長年蓄積した支援のノウハウ等を伝えて欲しい。	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。	I-2-(1)
2	知能指数が特に高い子どもが、学校の勧めで通級に行くことになったが、内容が本人に合っておらずひどく傷ついてしまった。このような児童に対する教育環境の整備についても議論して欲しい。	サポートルームの入級は、各学校及び入級相談会において入級の必要性を判断して入級決定をしております。指導は、一人ひとりの実情に合わせて個別指導計画を立てて行っておりますが、保護者の方との十分な合意形成ができますように取り組んでまいります。	I-2-(2)
3	子どもには教育を受ける権利もある。子どもにとって、わかりやすい形での支援について検討して欲しい。	配慮が必要な児童生徒を含めてすべての子どもがわかりやすい授業や教育を受けられるよう、特別支援教育を推進していきます。	I-2-(2)
4	療育記録ノートについて、まだ知らない保護者が多いので、配布強化と同時に、関連機関への周知をお願いしたい。また、これを基に関連機関と支援の連携を図ることも目標にして欲しい。	療育記録ノートは、子どもの成長等を記録することで、入園・入学等の際に切れ目なく支援の記録が引き継がれることを目的に作成しております。このノートが希望する保護者に行き渡るよう、配布強化に取り組みます。	I-2-(3)

No	ご意見の要旨	市の考え方	関連する基本施策
5	<p>保育所等訪問支援は、学校の児童・生徒への支援こそ必要である。</p> <p>それなのに受入れを渋る学校がある。</p> <p>障がい特性について理解のない先生も多い中、本当に支援が必要と考える。</p> <p>LD 支援がまったく出来ないのも非常に問題である。</p>	<p>特別支援教育の理解は、通常の学級を含めてすべての教員等にとって必要です。発達障がいの児童に対しても特性の理解や対応ができるように、教員研修の充実や各機関との連携強化を図っていきます。</p>	I-2-(4)
6	<p>サポートルームの実施</p> <p>取組方針に、支援教員の支援力向上を目指し、専門家による研修や巡回などを実施することを盛り込んで欲しい。</p> <p>同時に、利用期間制限の廃止をお願いしたい。</p>	<p>専門家による研修や巡回等については、すでに行っております。計画書の55ページの取組に載せたとおり、引続き教員の支援力、指導力の向上を図ってまいります。</p> <p>サポートルームの利用期間については、東京都教育庁で示された「特別支援教室の運営ガイドライン」に基づき、原則の指導期間は1年間となっております。</p>	I-2-(4)
7	<p>発達に課題のある子どもの計画相談の受け手が少なすぎる。</p> <p>法人内利用者のみ、あるいは医療的ケア児のみに限定されている。</p> <p>報酬単価を町田市独自に引き上げたり、もう少し民間が参入したりする仕組みを作ってはどうか。</p>	<p>障害児相談支援事業所が市内に少ないことにつきましては、市としても課題として認識しております。</p> <p>障害児通所支援事業所の新規開設を行う法人や既存の事業所に相談支援事業所の指定申請を促すなど、基盤整備に取り組んでまいります。</p>	II-1-(1)

No	ご意見の要旨	市の考え方	関連する基本施策
8	<p>大規模災害に備え、医療的ケア児に必要なおむつや医療ケア用品の備蓄を個人単位ではもちろん、市単位でも充実させてほしい。</p> <p>医療的ケアが必要な少数の障がい児者に目を向けていただきたい。</p>	<p>大規模災害の発生時、障がい児・者や高齢者は特に大きな被害を受ける可能性があります。</p> <p>そのため、町田市では、重度障がい児を含む避難行動要支援者を対象に、必要な備蓄品や支援の内容を記載する個別避難計画を策定します。</p> <p>医療的ケア児については作成の優先度が高いと認識しており、計画の早期作成に着手してまいります。</p>	Ⅲ-2-(1)
9	<p>重度障がい児のいる家庭では、今回の意見募集の資料が設置されている施設に出かけることは少ない。担当の発達支援専門員や保健師から案内があれば助かる。</p> <p>発達支援に関係する希望者のみが発信を受け取れる町田市公式LINEなどがあっても良いかと思う。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の意見募集実施の際の参考にさせていただきます。</p>	その他
10	<p>現在、おむつゴミ袋は市役所や出張所、子どもセンター、病院等に設置されているかと思う。</p> <p>しかし、重度障がい児を抱えて出かけることはほぼない場所である。</p> <p>おむつを置いているドラッグストアにおむつゴミ袋の設置を提案する。</p>	<p>いただいたご提案につきましては、おむつ袋を所管する部署と共有させていただきます。</p>	その他

No	ご意見の要旨	市の考え方	関連する基本施策
11	<p>発達支援専門員や保健師には、障がいを抱える子どもの福祉支援や行政サポート、機関との調整について経験や知識が求められ大変なことと思う。</p> <p>継続して従事できるよう一層の仕組みづくりを望む。</p>	<p>ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>	<p>その他</p>
12	<p>パルスオキシメーターをレンタルする場合の助成について、6歳以降も継続して欲しい。(同様意見他1件)</p>	<p>ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>	<p>その他</p>
13	<p>重度障がい児がレスパイト目的で短期入所を利用する際、母親一人で多くの荷物を運び、利用手続きを行わなければならない。</p> <p>その際の交通手段としてタクシー券の利用やあいちゃん号、やまゆり号の利用、通院介助(移動支援)の利用ができない。</p> <p>かつショートステイ施設の利用予約がとれるとも限らないのが現実である。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、重度障がい児がいらっしゃるご家庭の実情として承ります。</p>	<p>その他</p>
14	<p>医療的ケア児には常にたくさんの医療機器が必要だが、申請の窓口となる所管課が分かりにくく、必要な支援の情報を集められない時がある。</p> <p>サービスや支援等に関する情報をわかりやすく発信して欲しい。</p>	<p>申請窓口を含め、サービス・支援に関する情報提供をより適切に行ってまいります。</p>	<p>その他</p>

No	ご意見の要旨	市の考え方	関連する基本施策
15	<p>「冒険遊び場」が今回の計画にない。</p> <p>「どの子どもにも分け隔てなく接してくれる大人の存在」が必要とあるが、「冒険遊び場」は障がいの有無や年齢で分けることなく、共に育ち、違いを知り認め合うことを大切にしており、地域の子育て支援の場となっている。発達に課題のある親子の参加も少なくない。</p> <p>地域に開かれた場である冒険遊び場は、来園者や地域の理解につながっている。</p>	<p>「冒険遊び場」が障がいの有無にかかわらず、子ども同士で一緒に遊べる場であることを踏まえ、コラム「分け隔てなく、子どもや家族が集える場・家族同士が交流できる場」において「冒険遊び場」の活動を紹介することにいたしました。</p>	その他